

e-ビーフNEWS 北の牧場から

August 2021

十勝の真夏

ここ十勝も30℃超しの日々が続いています。北海道は全国トップクラスの猛暑地帯になっています。旭川は連日猛暑で昨日は38℃、年間寒暖差が70℃に広がりました。最北の稚内でも32℃。ありえない猛暑になっています。7月は雨も降らず干ばつ気味になり、畑のイモやビート作柄に多大の影響が心配されていましたが、ここきて台風崩れの天候配置で夜に雨、日中はガンガン照りに。北海道には合わない蒸し暑さが牧場作業中、いくら水を飲んでも間に合いません。餌やりが一段落したら水道の蛇口を開いて後頭部にジャー、息を吹き返します。

今年の麦作は、好天に恵まれ高収量とともにほぼ終了。牧場が欲しい寝わらも真黄色の良質なものが取れています…とりたいところですが、こここのところの雨あたりでロールできずにいます。デントコーンの成長は巨大です。畑一面にもさつと茂みとなり、もう穂を出してきました。牧場の牛たちは、のんびりムードで夏空下に寝そべっています。



活動のお知らせ

- 6/1(火)~9月末 横浜ベイ シェラトンホテル COMPASS 夏の北海道フェア
e-ビーフ採用 石焼きステーキほか
- 9/16(木) 13:00~ 日本産肉研究会第28回学術集会 オンライン開催
シンポジウムテーマ「みどりの食料システム戦略」の先にある食肉生産の将来
- 9/16(木)~18(土) 寺西梨衣氏(農水省畜産局) 「みどりの食料システム戦略の概要について」他
東京都立産業貿易センター浜松町館 2021オーガニックライフスタイルEXPO
- 9/19(日) とかちプラザ 帯広2021 十勝オーガニックヴィレッジ大収穫祭
- 10/28(木) 北海道畜産公社 第11回北海道肉専用種枝肉共励会
とかちプラザ 第18回資源循環型肉牛生産シンポジウム2021

NEWSばかり読み

- 農水環境省 みどり戦略で勉強会を開催7/1:まずは一歩
- 内閣府 地域バイオコミュニティで北海道は北大等認定
7/2:先端になれるか
- コロナ禍で食品ネット通販が高齢者に浸透
7/6:年寄りにIT化が進むのでは
- 十勝管内の農業アルバイトが前年の3倍1万1千人に7/7:就労の多様化
- 5月食料支出2%増 生鮮肉は8%減 巣ごもり反動7/7:実需
- ノルウェー 再エネで日本向け発電用のアンモニア生産
7/8:EUは再エネあまり
- 6月輸入牛肉増 7ヶ月ぶり 入船遅れ分入荷7/8:価格も上げ
- 北米熱波 気候変動の影響150倍に拡大7/9:待ったはない
- FAO食料価格 1年ぶりに下げ傾向 トウモロコシ生産拡大で
7/9:でも高価格
- 農水環境省 みどり戦略に基づき有機拡大に指導者育成へ
7/10:現場指導者を
- 中国の世界の土地資産10年で600万ha
7/11:日本の耕地面積の1.5倍
- 牛マルキン5月販売分に発動14道県7/13:相場の下落傾向
- 外食6月上高減 緊急事態延長で7/13:るつぱに
- 国連 世界飢餓1億人に増加 コロナ失業者増7/13:食糧の取り合いに
- 熊本大 線虫の誘引物質を特定 トラップ剤開発に
7/14:イモも助かるかな
- 環境省 洋上風力発電のアセスメント8年を短縮に7/15:もっとリアルに
- 気象庁 予測サービス「売りどき」を提供開始7/15:天気が金に
- EU 35年ガソリン車販売禁止に 23年に炭素税導入
7/15:日本間に合うかな
- 最低賃金が3%アップ答申7/15:雇用は保たれるのか
- そば需要低迷 コロナ禍で蕎麦屋需要低迷続く
7/16:そば食に行かないと
- 輸入牛肉が最高値に 生産減、中国需要増、ショートプレートが1,000円に
7/17:
- 政府 電源構成で再エネ36~38%に7/17:もっと大胆に
- 農林水産省 食品ごみをエネ利用促進に7/19:もっと飼料化の工夫
- 2月調査 肉牛増昨対5万頭増で260万頭に乳牛135万頭
7/19:補助策奏功
- 農林水産省 フードシフト運動開始 国産消費拡大へ
7/21:今はチャンスか
- 輸入チーズ7年ぶりに高値 中国の旺盛な消費影響
7/22:中国で世界が回る
- 食品の輸出1-6月30%増 世界経済の回復で7/22:他国は早い
- 大手電力 山間部に独立送電網 再エネの自給自足7/23:増やせ
- 居酒屋各社 鶏肉新業態に相次ぐ参入 唐揚げテイクアウト
7/24:業態の多様化
- 21年上半年 白物家電10%伸び 巣ごもり需要7/24:需要はしっかり
- コロナ禍で5歳以下の食生活悪化傾向死亡率増加
7/24:ベースを見直せ
- 20年チーズ消費6年連続で最高 国産シェア14%4年ぶりに増7/26:
それでも14%
- 北電 洋上発電でグリーン水素製造7/27:太陽光でも
- 総務省 ふるさと納税に地元産電気を返礼品に7/27:アイディアだね
- 東京リサーチ 居酒屋チェーン店舗閉鎖 1000店に
7/27:止まらずが実態か
- 三菱商事 豪州でCO2排出枠の販売事業に参入7/29:海外では進む
- 北海道 12年ぶりに種雄牛造成を再開
7/28:再チャレンジ 長いスパンで行こうよ
- OIE 日本鳥インフルエンガ清浄国に 処理数1千万羽7/30:代償大きい
- 北海道 和牛振興戦略プラン決定 27年和牛共励会に合わせ
7/31:どんなプランか

ホルス

ホルス相場はほぼ横ばいで推移。
出回り頭数少なく各産地取扱頭数減少で、パーツの供給に制限あり。
販売状況は非常に荷動き悪く7月不調、8月も旧盆前も静かな状況で引き合いが強い。
定番の切落し、特売でロースは全く余裕ない。
販売は低調ながら、頭数が少ないことから産地コストは高値維持しており販売とギャップ感強い。

経産牛

経産牛の相場は上昇続いており、出回り頭数も引き続き少ない状況。
枝相場は@700突破している状況。
販売は冷凍原料の赤身問合せが多いが、産地在庫も少なく品薄状態。
取扱い頭数の減少で定期販売分のオーダーも確保難しくなりつつある。
国産牛全般、販売状況は鈍いが産地コストが上昇しており値上げ交渉の動きもあり、逆ザヤ状況。
販売不振、節約志向からか国産牛最安値の経産牛切落しの問合せは増。

左先生の畜産学研究NEWS

1.日畜会報92(2)2021.5

オーストラリア産WAGYUの生産・輸出の現状と、オーストラリアへの日本産牛肉—特に和牛輸出の現状と課題(吉田詞温ほか、日大院生物資源経済)
海外生産のWAGYUは和牛由来の遺伝子含有率が50%以上ですが、海外のレストランなどでは日本産和牛肉への「脂っこさや赤身の旨さ不足」と価格の高さが指摘されています。日本産和牛肉と競合している豪州産WAGYUの輸出量は日本産和牛肉の10倍です。和牛の国内市場の強さや霜降り肉生産を特徴とした血統管理の歴史、品質の高さから価格を下げての価格競争より、ブランド品としての需要拡大を図り、高級部位のみを輸出できることを活かしたカット技術や食べ方の提案が必要です。

2.畜産技術794号(2021.7)

特集 耕作放棄地とICTを活用した周年親子放牧による高収益な子牛生産(1~5)

1)耕作放棄地を活用した周年親子放牧の特徴(山本嘉人・井出保行、農業・食品産業技術総研機構)

わが国の農業生産基盤の脆弱化は耕作放棄地を拡大させ、その対策や牛肉輸出強化に向けた耕作放棄地の活用が、周年親子放牧が有効で、肉用牛の繁殖経営を高収益化し、肥育素牛の安定供給が期待されています。周年親子放牧はすでに事例がありますがここでは、放牧地20ha、繁殖牛40頭、労力1.0で子牛35頭/年出荷で、AIやICT活用による

スマート畜産の導入で若手就農者を呼び込む農村地域振興を想定しています。

2)周年親子放牧導入システムの概要と利用例・収益性の検討(恒川磯雄・中尾誠司、農・食産技総研機構)

周年親子放牧の導入は肉用子牛のコスト低減が期待されています。その収益性は放牧草地の立地環境に大きく依存し、草地基盤の確保にはツールフェスク、ライグラス、エン麦など草種選択が重要です。

3.肉用牛研究会報 111: 7-12 (2021)

肉用牛の肉量および肉質のバイオマーカーとしての血中マイクロRNAの可能性(足立裕哉ほか、京大院農)

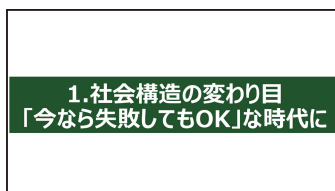
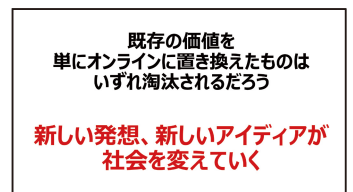
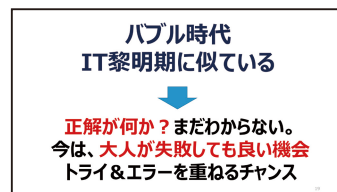
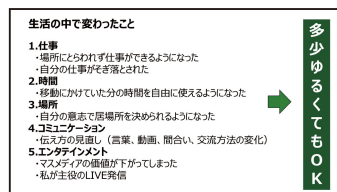
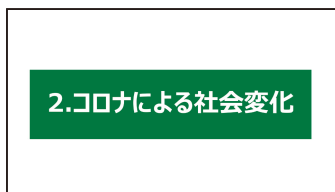
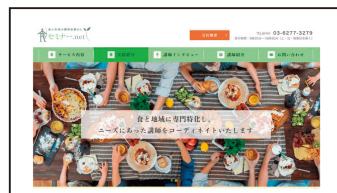
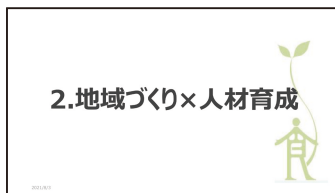
家畜の血液には生体状態の指標になる物質(バイオマーカー)があり家畜の経済形質の指標探索が進み血液中のマイクロRNA(miRNA)の有用性が明らかにされています。miRNAはゲノム上にコードされ約22塩基の微小RNAで一本鎖です、細胞外小胞体の一つであるエクソソームから血中に分泌されています。miRNAは細胞から分泌放出され、血液などの体液に存在して幾つかの機構により遺伝子発現の制御に関与しています。日本短角種や黒毛和種牛を放牧すると血中エクソソーム内のmiRNA量が変動することが知られています。肉量や肉質のバイオマーカーとしてのmiRNAの遺伝子発現制御の役割に関する研究はこれからの課題と思われます。

資源循環型肉牛生産シンポジウム 2020

話題提供3.「Withコロナの視点～消費者からみた新スタイル」

全5回シリーズ②

(株)グロッシー 代表 北村貴氏



転載・再利用は固くお断りします